

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.131

2016.9.5

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227



## 核のもたらす悲惨さを、いかにつなげ伝えて行くか

### 原水爆禁止世界大会 in 広島に参加して

世界ではこれまでにないほど「核」に対する関心が高まり、大きな動きをみせている今年。私自身、漠然と核に対する自分なりの思いというか正義感とでもいうかを持ちながら向かった広島でしたが、滞在期間が長くなるほど、他人目線であり、どこか他人事で無関係だと思っていた事をただただ思い知らされ続けました。

原爆投下の日と同じだというセミの声が鳴り響く猛暑の中、街を歩けばいたるところに71年前の悲惨さが見てとれ、資料館では思わず目を覆い、吐き気をもよおしてしまうほどの惨状が記録としてありました。恥ずかしい話ですが、それらを目の当たりにして一番初めに思ったことは、自分や自分に繋がる人たちが被害者でなくて良かったなという事でした。それほど嫌な光景でした。

そんな、他人事な私も、世界大会の大舞台で一生懸命お話されている世界各国の方々、日差しが照りつける中、屋外で署名活動に尽力する学生や大人の姿にはとても感銘を受けましたし、被爆者本人の口から語られる実体験は気が付くと涙がこぼれていたほど伝わるものがありました。

広島から帰り一息ついてから思うことは、被爆者のみならず2世、3世と次代にも影響を及ぼす核のもたらす悲惨さを伝え続け、世界から核をなくし、同様の惨劇を二度と繰り返さないことであり、それに伴う様々な運動を展開していくことでした。また、被爆者の平均年齢が80歳を超えているいま、それをどうやって伝えるか、刻むか、「繋げ続けていく」のかを真剣に考えてみる必要があると思いました。

いずれはやってくる「被爆者の声」が直接届かなくなる時代がとても怖くなり不安が膨らんだと同時に、核兵器のない平和で公正な世界にとどまらず、「戦争のない平和で公正な世界」を希求する気持ちがとても膨らんだ広島での世界大会となりました。

(久慈市職労 岩城 凌)

### 「第10回ピース in 矢巾 夢・まつり」を終えて ～矢巾九条の会



矢巾九条の会は、8月7日、矢巾町公民館で、「第10回ピース in 矢巾 夢・まつり」を行い、元米海兵隊員アレン・ネルソンさんが語る「9条を抱きしめて」のDVDを上映し、平和への思いを交流しました。

ネルソンさんはベトナム戦争に従軍して、帰国後、PTSDで苦しみ、10年以上もかけて克服しました。

「戦争の真実を語る事が私の務めだ」と言って、13年間学校などを講演して回りました。「憲法9条はいか

なる核兵器、いかなる軍隊よりも強力です。9条を守るために立ち上がり声を上げることが大切です。平和は、国連からやってくるものではありません。ここから、この部屋から、私たち一人ひとりから始まるのです」熱く、力強いメッセージを發したネルソンさん。憲法9条破壊の動きが強まっている情勢のもと、私たちのすべきことは「戦争はいや」「9条守れ」の大きな、強力な世論づくりではないかと強く感じました。



「いわて生協親子ピースアクション」県内30か所700人が参加

# “子どもたちと学び、平和な未来を築こう”



毎年夏の時期に、戦争の悲惨さと平和の大切さについて考え合おうと、「夏休み親子ピースアクション」を開催しています。生協店舗や公民館、学校や学童クラブなどで、平和アニメDVD鑑賞や紙芝居、絵本読み聞かせなどを実施。デザート作りや工作、ミニ縁日などと組み合わせて行った会場もあり、子どもたちと楽しみながら、平和について考えました。

子どもたちからは、「DVDはちょっと怖くてドキドキしたけど、楽しかった」「つらく悲しいことが本当にあったと知った。絶対に戦争をしちゃいけないと思った」、親からも「小さい子はまだ意味がわからないと思うが、戦争があったことを知るのは大事」「たくさんの人に深い悲しみをもたらした戦争を、二度と繰り返してはいけない」「9条を変えずに、平和なくらしをしていきたいとあらためて思った」などの感想が出されました。



また8月9日に、盛岡市高松の池にある平和祈念像“望み”前で、「平和のつどい」を参加40名で開催しました。8月4～6日に被爆者の証言や碑めぐりなどに参加した「ピースアクション in ヒロシマ」報告のあと、望み像に千羽鶴をかけ、長崎原爆投下時間に黙祷。そして、みんなで「青い空は」を歌い、憲法9条を読み上げました。

平和な未来を残すため、これからもピースアクションを続けていきます。

## クラム＝ 戦後71年目、安倍首相に一言、「これで良いのですか？」

戦後71年目、全国戦没者追悼式を報じる記事をみんなで再確認しましょう。

終戦から71年を迎えた8月15日、政府主催の全国戦没者追悼式が東京の日本武道館で開かれ、参列者が平和への誓いを新たにしました。安全保障関連法の本格運用や憲法改正論議が見込まれる中、安倍晋三首相は式辞で「戦争の惨禍を決して繰り返さない」と強調。ただ2013年以降3回の式辞と同様に、歴代首相が触れたアジアへの加害と反省には言及しなかった。天皇陛下はお言葉で昨年続き「深い反省」に触れられた。

安倍首相！ 日本国民のためにも、外国のためにもこれで良いのですか。

先の参議院選挙の結果をもってしても、「日本が再び戦争する国になる」ことを国民は決して認めていないはずです。

引き続き、「9条守れ」「戦争法廃止」の声を上げ、世論を広げていきましょう。 (T)

今月の署名行動

今月は、9日(金)12:00～12:45「野村證券前」です。  
9条改正を狙う安倍首相に、憲法守れ！立憲主義守れ！の声を発していきましょう！